

学芸会の創り方

子どものころ、ごっこ遊びは好き
でしたか？きれいでしたか？

すき きらい

演じるのは楽しい！
～表現することをきらいにさせないで♪～



学芸会は総合芸術！

図工音楽総合国語を 上手にミックス

人のことは言えませんが、専科の先生方は、職人なので一癖も二癖もあります。この人たちと上手にやるには、高度なコミュニケーション術が必要です...

表現が苦手な子もいるよ



表現が苦手な子もいるよ

表現が苦手な子から聞いた言葉を大きくわけると4つ

- 1「はずかしい」 プロじゃないから、やれる範囲でOK。WSで楽しんでもらい、自分じゃない自分になるチャンス！
- 2「緊張する」 緊張した方がいい！脳が活性化され賢くなる！
緊張しない俳優はいない。練習通りすれば大丈夫
- 3「声出ない」 あんな大きな体育館で、大きな声を出せるのはすごい人。プロなら集音マイクを使う。2人、3人なら一緒に言える？
- 4「感情をこめれない」 ふつうに言えばいいよ。セリフの強調する部分だけ考えてもらって、セリフの立て方を伝える。

台本さがし

脚本で70%決まる
子どもたちの実態を考えて、先生
がおもしろいと思う台本でやるこ
とがおすすめ！
(絵本・マンガ・小説・ドラマなど)

台本づくり

先生の中で「この話でいくぞ！」って物が見つかれば、あとは、それを子どもたちに押し付けるのは、あまりよろしくない……。

台本がないから「いっしょに作ってほしい」ってお願いし、台本づくりのエチュード（即興演技）のワークショップをする。モチベーションUP！台本できないと、学芸会ができない……WSの内容は、あとで説明します。

配役づくり

大人数(120人)少人数(12人)
どうすればいいの？

平等に割り振らなくてもいい！？
人数に合う台本につくりかえればいい！
保護者としては「一度は舞台に立ってセリフ
を言ってほしい」

本読み

全員で車座になって、台本の読み合わせをする。読む場所は、
適当に、順番でいい。
ト書きは先生が読む。
大まか時間を計るのを忘れずに。

オーディション (配役)

アンケートで第1希望から第4希望まで書いてもらう。第1希望がかぶっているところはオーディションをする。公平にするために、このページを覚えてきてね♪と課題を出す。放課後等にオーディション。見ている先生を置くこと。オーディションの相手は演出のあなたがやる！課題のページが終わっても、エチュード(即興)で続けることを伝えてオーディションをする。アドリブ力がどこまであるか？本番で失敗しても、どこまで助けてあげられるか？役になりきれるか？などを見る。だいたいの子ができないから、自信満々の子が出ない。オーディション後、保護者からのクレームが一番多いのは、「どうしてうちの子がダメなんですか？」だそう。オーディションが終わって自信満々で帰らせないのが秘訣。

練習

体育館を使えるのは、学年配当9時間十リ八ぐらい。

全体の場面（歌、ダンス、たくさん出る場面）などを練習し、人数の少ない場面は、休み時間等に練習する。こうして場面場面をつなぎ合わせて、体育館での練習につなげていく。（セリフ、動き、空間を意識させること）

衣装

雰囲気が出ればそれでOK！

他校に借りる！

町内会に借りる！

保護者に作ってもらおう！（友達の間も）

インパクトある場面では、買う？

あくまでも衣装は、衣装。

大道具

背景（作る・・・大変）

借りる！

プロジェクター（短焦点、舞台そ
でから斜めから写す）

場面がそれっぽく見えればOK！

小道具

子どもたちに作ってもらおう。
(小道具班を作る)
借りる！
マイム
有り物を使う。

照明

暗転はできるかぎり少なく！（多くて2回）
見ている人の視点がずれれば、背景が変わったり、移動したりしても、気にならない。

なるべくこだわらない。
照明班を作る
フットライトは使わない。

音響

効果音を上手に使う

BGMで場面を助けてあげる。(雰囲気・映画サントラ)

音楽はこだわる！歌、ダンスの曲は大事

音響班をつくる。

相担の先生に担当してもらおう。(本番もお願いする)

借りる！

ボリュームをしっかりと把握すること！

演出

演出助手を作る。(台本変更、照明、音響、場面の振り返りなど)
立ち位置をかぶらせないように。
「一歩前へ出て、一歩下がる」をやめる。
劇団四季の演出はすべてではない。
声が聞こえない子には群唱を。
舞台中央からマイクで指示する。
小道具、大道具、立ち位置などの把握もする。
演技している子たちには、絶対怒らない。
演出を楽しむ。子どもたちが自発的に考えた場面は感動。
ビデオをとって、自分でもう一度チェックする。

ひまな子は…

舞台そでにいと、当然遊び始める。先生
の見えない所は絶好の遊び場。他の子の
場面を見て学べって言っても、子どもには
興味も関心もない。だから、なるべく舞台表
の両サイドに置くか、演出席の後ろあたりに
置いておくといい。大道具の準備がある子
は、その時に出ていくように伝える。

それでも不安…

劇を仕切るのは、当然不安だし難しい。けど、みんな条件は同じ。劇をやったことのない先生ばかり。だから一緒に組んだことのある先生のやり方が正しいとは限らない……。というか、だいたいまちがってる。だから、困ったらなんでも聞いて、たよってねん♪

振り返り

ビデオ（学芸会のビデオってなかなか見る機会が子どもたちにはないから、自分たちの演技を見せてあげること。）

作文

保護者会

心がけていること

練習の雰囲気大切に。
緊張感の中に楽しさを。
ミスしたら仕方ない。
100%を求めない。
子どもたちの演技を楽しむ。

演じるのは楽しい！
～表現することをきらいにさせないで♪～

